

目標値一覧

項目	平成27年 基準値	令和3年 中間評価	令和8年 目標値	達成 状況	改善 状況	
1. 子どもとその家族に向けた食育の推進						
食事の時間が楽しいと思う人の割合	小学5年生	86.5%	85.4%	90.0%以上	B	↘
	中学2年生	86.6%	93.9%	90.0%以上	A	↗
朝食または夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数	小学5年生	中間評価で調査	10.8回	週11回以上	B	—
	中学2年生	中間評価で調査	9.5回	週11回以上	C	—
朝食を毎日食べる人の割合	1～5歳児	98.0%	97.2%	98.0%以上	B	↘
	小学5年生	95.3%	80.0%	98.0%以上	C	↘
	中学2年生	88.2%	82.7%	98.0%以上	C	↘
	1～5歳児保護者	88.0%	80.6%	90.0%以上	C	↘
	小5・中2保護者	83.1%	88.5%	90.0%以上	B	↗
主食・主菜・副菜をそろえた朝食をほとんど毎日食べる人の割合	小学5年生	34.0%	25.9%	50.0%以上	D	↘
	中学2年生	32.2%	23.8%	45.0%以上	D	↘
	1～5歳児保護者	21.7%	14.0%	35.0%以上	E	↘
	小5・中2保護者	27.0%	17.4%	40.0%以上	E	↘
肥満傾向児の割合	小学5年生男子	11.0%	14.3%	9.5%以下	E	↘
	小学5年生女子	10.8%	12.5%	7.0%以下	E	↘
	中学2年生男子	11.3%	10.0%	8.0%以下	C	↗
	中学2年生女子	5.8%	7.3%	5.8%以下	C	↘
子どもに家で食事の手伝いをさせている人の割合	1～5歳児保護者	72.1%	73.8%	90.0%以上	C	↗
	小5・中2保護者	82.1%	84.0%	90.0%以上	B	↗
2. 生涯にわたって健康的に過ごすための食育の推進						
野菜を毎食食べる人の割合	小学5年生	39.9%	42.2%	50.0%以上	C	↗
	中学2年生	50.2%	50.2%	60.0%以上	C	→
	1～5歳児保護者	37.2%	46.6%	50.0%以上	B	↗
	小5・中2保護者	37.6%	50.5%	50.0%以上	A	↗
メタボリックシンドローム該当者および予備群者の割合	40～74歳	26.5% (H26年度)	33.2% (R2年度)	29.4%以下	C	↘
3. 地域の「食」を活用した食育の推進						
富谷市産の農産物がどこで入手できるか知っている人の割合	1～5歳児保護者	48.2%	41.7%	80.0%以上	D	↘
	小5・中2保護者	50.2%	56.0%	80.0%以上	C	↗
家で黒川地域産の農産物を月に1回以上食べる人の割合	1～5歳児保護者	60.0%	53.4%	80.0%以上	D	↘
	小5・中2保護者	66.5%	65.6%	80.0%以上	C	↘
学校給食での地場産品の使用回数（富谷市産）		280回/年	158回/年	300回/年	D	↘
学校給食に宮城県産の食材を使用した郷土料理を提供している回数		30回/年	48回/年	40回/年	A	↗

達成状況の基準
 A：中間評価の数値が目標値の100%以上
 B：中間評価の数値が目標値の90%以上
 C：中間評価の数値が目標値の70%以上90%未満
 D：中間評価の数値が目標値の50%以上70%未満
 E：中間評価の数値が目標値の50%未満

改善状況の基準
 ↗：中間評価の数値が基準値と比べて改善傾向にある
 →：中間評価の数値が基準値と変わらない
 ↘：中間評価の数値が基準値と比べて悪化傾向にある
 —：基準値が把握できないため評価が困難



第3期富谷市食育推進計画

中間評価 概要版

[計画期間] 平成29年度～令和8年度

基本理念

地域の「食」を通して、
生涯にわたり豊かな心とからだを育む

家族みんなで
ごはんを食べよう！



主食・主菜・副菜を
そろえて食べよう！



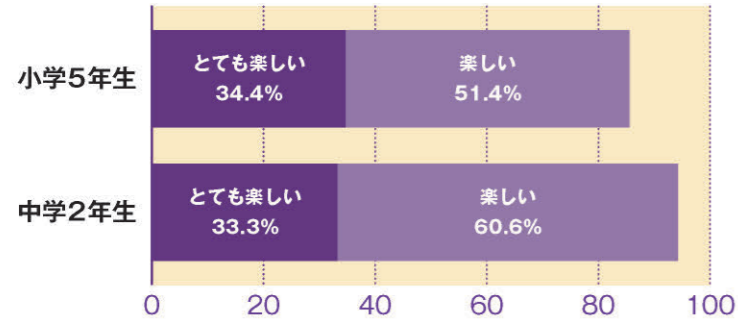
地元でとれる
旬の食材を食べよう！



中間評価により見えてきた現状

食生活に関するアンケート調査結果より

■ 食事の時間が楽しい人の割合



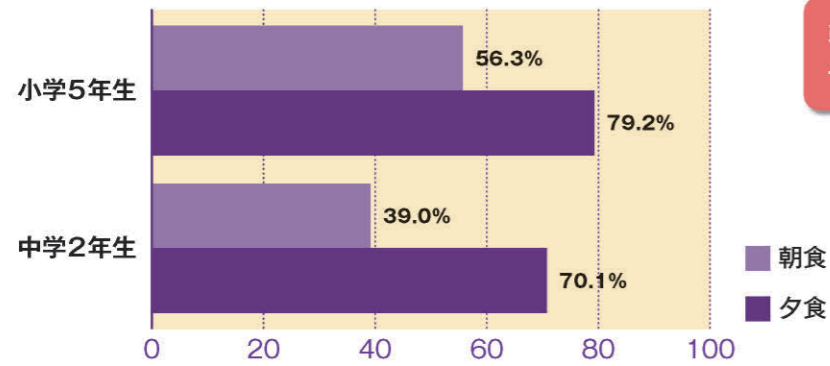
※令和3年10月～11月実施
👍 Good

8割～9割の子どもが食事の時間は楽しいと回答しています。

■ 楽しいと答えた理由(ベスト3)

1位	おいしい
2位	家族・友達と食べて話ができる
3位	食べるのが好き

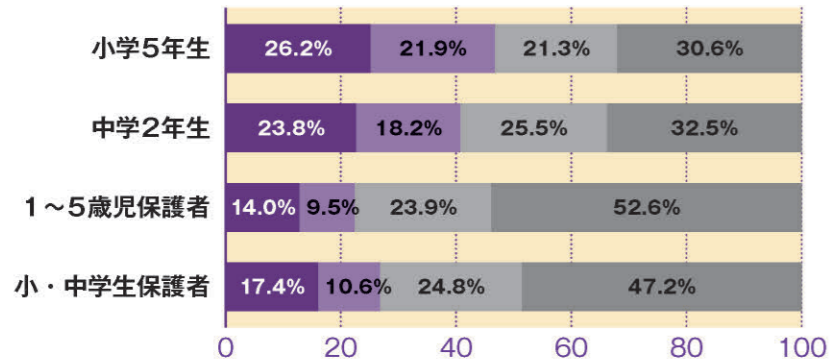
■ 家族との共食状況 (ほとんど毎日食べる人の割合)



朝食は、夕食と比べて家族と食べる子どもの割合が低くなっています。

家族での楽しい食事は、規則正しい生活習慣や食事マナーの習得にもつながります。

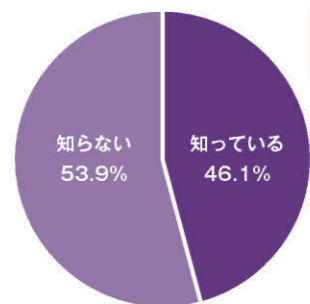
■ 主食・主菜・副菜をそろえて食べる人の割合【朝食】



「ほとんど毎日食べる」人は、どの世代も2割前後と少なく、保護者は昼食も3割以下と少ない結果でした。

- ほとんど毎日食べる
- 週に4～5日食べる
- 週に2～3日食べる
- ほとんど食べない

■ 富谷市産の農産物の入手先を知っている人の割合 (1～5歳児保護者、小・中学生保護者)



半数以上が入手先を知らない状況です。

■ おんないん会の直売店

- ビッグハウス富谷店
- 食品館イトー仙台泉店
- デイリーポート新鮮館富谷店

おんないん会では、富谷産の旬の野菜や果物を直売しています。

食育推進事業の今後の方向性

子どもとその家族に向けた食育の推進

生涯にわたって健康的に過ごすための食育の推進

地域の「食」を活用した食育の推進

- **基本的な生活習慣の形成**
子どもと保護者が一緒に意識を高め行動するための取組を推進します
- **家族や友人との共食の推進**
ワークライフバランスや働き方、暮らしの変化等を配慮した共食のための取組を推進します
- **健康寿命の延伸につながる食育の推進**
野菜摂取量の増加や塩分摂取量の減少、生活習慣病予防のための取組を推進します
- **地産地消の推進**
直売スペースの確保や販売方法の拡充、幅広い世代に向けた地産地消に関する知識等の周知啓発を推進します

その他、引き続き保育や教育の場における計画的な食育の推進や体験・交流活動の推進などの取組に努めます

できることから始めよう！ 毎日の生活で食育にトライ！

- 毎日、朝ごはんを食べる
- 塩分控えめを心がける
- 直売店や市のイベントに出かける

- 食事の手伝いをする(させる)
- 家族や友人と一緒に食事をする
- 黒川地域の野菜を食べる

- いつもより野菜料理を一皿プラスする
- 主食・主菜・副菜をそろえて食べる

どれくらい実践できているか チェックしてみましょう！

食生活の基本はバランスよく食べることです。主食・主菜・副菜をそろえた食事をする事で栄養バランスが整います。

副菜 野菜、いも、海藻などを主な材料にした料理です。ビタミン、鉄、カルシウム、食物繊維などを多く含みます。

主菜 魚、肉、卵、大豆を主な材料にした料理です。たんぱく質や脂質を多く含みます。

主食 ごはん、パン、麺など穀類を主な材料にした料理です。炭水化物を多く含みます。

ワンポイント 具たくさんのみそ汁やスープは、副菜になります。

定食形式の食事はもちろん、麺類や丼ものなどの一皿料理でも主食・主菜・副菜を組み合わせる食事することができます。

ワンポイント 麺類や丼ものは、野菜が不足しがち。野菜料理を一皿プラスできると Good！